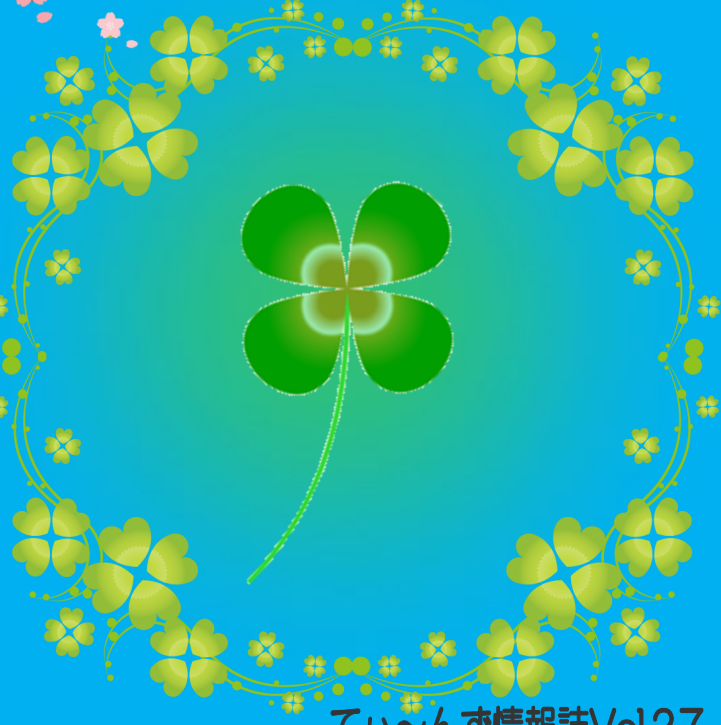


10代のための本棚



墨田区立図書館

てい〜んず情報誌Vol.27

2019年4月発行

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

2018
TOP10

墨田区立図書館・ティーンズ予約ランキング

ベストオーダー発表！

順位	タイトル	著者	予約数
1	かがみの孤城	辻村深月	24
2	嫌われる勇氣	岸見一郎・古賀史健	21
3	大家さんと僕	矢部太郎	17
4	青くて痛くて脆い	住野よる	13
4	か「く」「し」「ご」と「	住野よる	13
4	君の臍臓をたべたい	住野よる	13
7	1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365	デイヴィッド・S.キダー ノア・D.オッペンハイム	12
7	十二人の死にたい子どもたち	冲方丁	12
9	化物語 上	西尾維新	11
9	沈黙のパレード	東野圭吾	11

中学生の少年少女を描いた「かがみの孤城」がトップとなりました！！

みなさんもこの中に気になる本があったらぜひ読んでみてくださいね♪

図書館に行こう！

墨田区には4つの図書館と3つのコミュニティ会館図書室があります。行ったことがない人も、久しぶりの人も、図書館に行ってみませんか？

★図書館ではなにができるの？

- ・本や雑誌、CDやDVDが借りられます。
- ・学習室や机があり、読書や調べものができます。
- ・おすすめ本やテーマ特集の展示をしています。
- ・パソコンやスマートフォンから本の予約ができます。

★はじめて利用するときは？

生徒手帳や学生証、健康保険証など、名前や住所の分かるものを持って来てください。その場で利用カードが作れます。利用カードは墨田区内のどの図書館・図書室でも使え

小学生のころは使っていたけど最近行ってないな〜という人は、カードを探してみてください。見つからなくても、生徒手帳などがあればすぐに再発行できますよ！

図書館では、中学生・高校生を中心とした10代の皆さんに、より多くの本に親しんでもらうため、各館に「ティーンズコーナー」を設置しています。名作小説やライトノベル、学習に役立つ本、ファッションやスポーツの雑誌などをそろえて、みなさんをお待ちしています！

ひきふね図書館おもてなし課 メンバー募集

★図書館好き！本好き！大募集！★

あなたも活動してみませんか？

- 図書館の魅力をもっと知りたい！
- 図書館をもっと楽しい場所にしたい！
- 本が大好き！みんなに紹介したい！

そんな
あなたは
おもてなし課へ

- ★ 対象 ★ 区内在住在学の中中学生・高校生
- ★ 活動日 ★ 奇数月第3日曜日午前10時～12時
(最初の活動日は5月19日)
- ★ 活動場所 ★ ひきふね図書館（墨田区京島1-36-5）
- ★ 申込方法 ★ 住所・氏名・学校名・学年・電話番号を直接
または電話、Eメールで、ひきふね図書館
Tel.5655-2350・EメールHIKIFUNE@city.sumida.lg.jpへ

活動内容(予定)

- 5月：自己紹介&ゲーム大会
- 7月：点字を知ろう
- 9月：ブックトーク&本を探そう
- 11月：ひきふね図書館裏側探検
- 1月：図書館の飾りを作ろう
- 3月：好きです！墨田！（墨田オススメスポット紹介）





あなただけの人生をどう生きるか —若い人たちに遺した言葉—

渡辺和子／著 筑摩書房 2018. 8

著者は二・二六事件の際に目の前で父さんを殺されるというつらい体験をされ、のちにノートルダム清心女子大学学長になった方です。著者から若者へ、どんな状況でも自分らしく生きていけるようにというメッセージがつまっています。



天地ダイアリー

ささきあり／作 フレーベル館 2018.11

トラウマの影響で外出時にマスクをつけなければならないという依存症になってしまった主人公が、個性的なメンバーで構成される栽培委員会の人達とふれ合い成長していくおはなしです。丁寧で分かりやすい文章で、読みやすい作品です。



みる・よむ・あるく東京の歴史 5

池享／ほか編 吉川弘文館 2018.11

隅田川流域の前近代の歴史が貴重な史料と共にカラーでわかりやすく紹介されています。みなさんご存知の墨田区の歴史だけでなく、周りの区の歴史も興味深いものばかりなので、是非ご覧になってください。



小夏と麦の物語

飛騨俊吾／著 双葉社 2018.11

殺処分寸前で救われた犬「小夏」。野良猫だった「麦」。彼らとそれぞれの飼い主が共に過ごす、優しくあたたかな日々を綴った二つの物語。言葉を持たない動物たちの視点から語られる人と、動物と人とのふれ合いが、「命とは何か」を問いかけてきます。



国旗と国章図鑑 最新版

荻安望／著 世界文化社 2018. 12

日本人には馴染みがないが、海外の国旗は頻繁にデザインが変わっていた！その国の基本データとともに、国旗と国章の変遷や色の意味など、197の独立国と11の国際オリンピック委員会加盟地域、国際パラリンピック委員会のみ加盟の2地域を掲載しています。



むこう岸

安田夏菜／著 講談社 2018.12

有名進学校から落ちこぼれ公立中学校に転校した和真。体の弱い母と小さな妹との生活を「生活保護」を受けながら奮闘する樹希。むこう岸の人間と思っていた同級生が「カフェ・居場所」でお互いの環境を知る。人は何のために勉強をするのだろう？ 自分にも問いかけたくなる一冊です。



高校生からのリーダーシップ入門

日向野幹也／著 筑摩書房 2018.12

リーダーシップとは、選ばれた人物だけがもつ特別なものではなく、グループに参加している人全員が、必要な場において発揮できるもの。普段の生活を豊かにするスキルの身につけ方について紹介しているので、是非読んでください。



願いごとの樹

キャサリン・アップルゲイト／作 チャールズ・サントス／画 尾高薫／訳 偕成社 2018.12

一年に一度願いごとが枝に結ばれ「願いごとの樹」と呼ばれる216歳の「私」が語る物語。ある一家が越えてきてから見守ってきた町の空気が変わります。肌の色や考え方から生まれる憎悪や差別を乗り越えるものを教えてくれる作品です。

「桜と日本」

「春」には日本で昔から行われている特別なイベントがあります。それは「花見」です。なぜ日本人は花見をするのか。なんて考えたことはありますか？

それもなんで桜なのか？ べつにタンポポやチューリップでもいいのに。と思う方もいらっしゃるでしょう。

花見はもともと、春の農作業の豊作祈願で行われていたものでした。古くは、平安時代に貴族や武士が行っていた催しが後々庶民に伝わってきたと言われています。

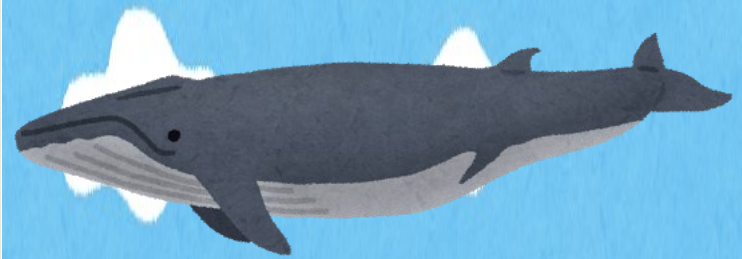
桜の花は、満開になるとすぐに散っていくという儚（はかな）さが人の一生に似ていると当時の貴族たちが考えていたということです。その満開の桜を愛（め）でるために花見が始まったと考えられています。

毎年、なんとなく行っていた花見という行事にもきちんと由来があります。ぜひ、そんな時代に心を馳せながら花見をしてみたいかたがでしょうか？

参考文献

『絵でつづるやさしい暮らし歳時記』新谷尚紀／監修 日本文芸社
『伝統行事がわかる図鑑1 春のしきたり』新谷尚紀／監修 ポプラ社

いきものに夢中！！



国立科学博物館
にて
大哺乳類展 2
開催中



『せつない動物図鑑』

ブルック・パーカー／著 服部京子／訳

ダイヤモンド社